

**平成23年度**

# **那須烏山市予算概要**

**平成23年2月**

**那須烏山市**

# 平成 23 年度 那須烏山市一般会計予算

1 2 7 億 6, 8 0 0 万円

(対前年度比：3 億 800 万円、2.5%の増額)

基本テーマ：計画から実行の年へ

## I 予算編成に当たって

わが国の経済情勢は、海外諸国経済の好転や各種の政策効果などを背景に、景気が自律的な回復へ向かうことが期待される一方で、海外景気の下振れ懸念や為替レート・株式変動、また、失業率が高水準にあるなど、依然として厳しい状況が続いています。また、日本が今後、高齢化がもたらす成長鈍化作用、いわゆるジャパンシンドロームが先進地各国から注目されているところであります。

このような中で、国の平成 23 年度予算は「新成長戦略実現に向けた 3 段階構えの経済対策」（平成 22 年 9 月 10 日閣議決定）のステップ 3 に位置づけ、「元気な日本復活特別枠」の活動等により、需要・雇用創出効果の高い施策への重点配分を行い、財政規律を維持しつつ、経済成長や国民生活の質の向上を目指すとしています。国の借金（国債、借入金、政府短期証券の総計）は、平成 22 年 12 月末時点で 919 兆 1,511 億円と過去最高を更新したと財務省が発表いたしました。借金を国民 1 人当たり換算すると、約 721 万 6 千円となります。なお、政府は 1 月、平成 23 年度末には 997 兆 7,098 億円に達し、1 千兆円の台に迫るとの見通しを国会に提出しています。

地方財政については、財政健全化に向け、経済成長による税収増を図るとともに、行財政改革に積極的に取り組むこととしています。一方、地方の一般財源総額については、社会保障費の自然増に対応する地方財源の確保を含み、実質的に平成 22 年度の水準を下回らないよう確保することとしています。

栃木県は、「新とちぎ元気プラン（平成 23 年度から 5 ヶ年）」の初年度を迎えるに当たり、『攻めの行政』という意味を含めた内容で、産業振興策に重点が置かれた成長戦略を色濃く打ち出しました。特に県東京事務所に新設する「県企業誘致・県産品（とちぎのいいもの）販売促進本部」と「フードバレーとちぎ」はその位置づけであります。

このような状況下、本市においては市民税収の落ち込みから極めて厳しい財政状況の中、安心・安全を柱とした福祉、環境、教育などの重要施策を「市民目線」「市民の生活優先」で着実に推進しているところでありますが、平成 23 年度の予算編成に当たっては、引き続き、常に事務事業の見直しを行い、簡素で効率的な行財政運営に取り組みながら、将来の持続的な発展を目指した積極的なまちづくりと、今後の人口減少・高齢化時代を見据えた取り組みの「攻め」と「守り」の両面への配慮を念頭に置いているところであります。市総合計画「みんなの知恵と協働による ひかり輝くまちづくり」のための「重点戦略 5」実現のため、市民との協働による「都市再生ビジョン」や「公共交通再編整備計画」、「まちなか観光ネットワーク構想」など都市空間の整備となる計画がまとめられ、「中長期財政計画（平成 23 年度から 32 年度までの 10 年間）」を策定いたしました。このことから本年を『実行の年』と位置づけし、雇用対策や学校環境・耐震化対策、高齢者及び障がい者・少子化対策など直面する課題に全力で取り組むものいたします。

## II 「実行の年」概要

### ①雇用対策の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 239,227 千円

- ・住宅リフォーム助成事業（10,020 千円）
- ・公募提案型緊急雇用創出事業（104,925 千円：45 人）
- ・緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別事業（123,082 千円：86 人）
- ・試行雇用助成金事業（1,200 千円）

### ②学校環境・耐震化対策事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,003,231 千円

- ・鳥山中学校及び鳥山小学校の空調整備設置事業（213,287 千円）
- ・鳥山中学校校舎補強・改修及び鳥山小学校校舎（北舎・南舎）補修・改修事業（773,249 千円）
- ・小・中学校空調整備設計業務事業（16,695 千円）

### ③子育て支援事業の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 729,389 千円

- ・すこやか推進室の設置
- ・ヒブワクチン・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチン予防接種の全額助成事業（52,645 千円）
- ・こども医療費助成事業（71,360 千円：中学 3 年生まで）
- ・5 歳児等発達支援事業（7,384 千円）
- ・子ども手当給付金事業（594,200 千円）
- ・待機児童解消事業（3,800 千円：市すくすく保育園での一時預かり事業の実施）

### ④公共交通再編対策事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 10,220 千円

- ・デマンド交通実証運行事業

### ⑤農商工連携、観光対策事業の強化・推進・・・・・・・・・・・・ 24,640 千円

- ・道の駅施設整備調査事業（5,000 千円）
- ・農林水産特産物開発事業（1600 千円：地域団体支援及びフードバレー関連事業）
- ・八溝そば街道そば祭事業の支援（2,500 千円）
- ・観光振興対策事業（15,540 千円：まちなか観光ネットワーク事業等）

### ⑥高齢者及び障がい者福祉支援対策の充実・・・・・・・・ 92,561 千円

- ・多機能型福祉施設運営モデル事業（2,000 千円：旧向田小跡地利用）
- ・障がい者及び高齢者福祉タクシー事業（10,108 千円）
- ・障がい者就労継続（60,000 千円：あすなる作業所）及び施設入所（20,000 千円：大和久福祉会）支援施設建設事業の支援
- ・運転免許証自主返納者支援事業（453 千円）

### ⑦定住推進及び企業の誘致の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 37,624 千円

### ⑧道路整備事業の推進(市道 12 道路&辺地 1 道路)・・・・・・・・ 648,172 千円

### ⑨教育・文化の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 135,766 千円

- ・特色ある地域教育力の向上（107,688）
- ・国指定文化財の保存活用（28,078）

### ⑩消防新庁舎建設事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 310,346 千円

### ⑪環境対策（CO2 対策）事業の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 7,510 千円

- ・エコキュート（5,310 千円）及びLED防犯灯設置事業（2,200 千円）

### ⑫都市再生ビジョンの推進

### Ⅲ 那須烏山市予算規模

(単位：千円、%)

会 計 区 分		本年度	前年度	比較	増減率	
一 般 会 計		12,768,000	12,460,000	308,000	2.5	
特 別 会 計	国民健康保険	事業勘定	3,477,100	3,379,200	97,900	2.9
		診療施設勘定	86,000	86,900	▲900	▲1.0
	熊 田 診 療 所	52,000	51,600	400	0.8	
	老 人 保 健	0	600	▲600	皆減	
	後 期 高 齢 者 医 療	277,100	306,000	▲28,900	▲9.4	
	介 護 保 険	2,284,000	2,162,100	121,900	5.6	
	農 業 集 落 排 水 事 業	55,700	66,900	▲11,200	▲16.7	
	下 水 道 事 業	374,900	383,000	▲8,100	▲2.1	
	簡 易 水 道 事 業	98,400	100,500	▲2,100	▲2.1	
	小 計	6,705,200	6,536,800	168,400	2.6	
合 計		19,473,200	18,996,800	476,400	2.5	
水 道 事 業	収益的収支	収入	554,217	561,906	▲7,689	▲1.4
		支出	507,582	529,154	▲21,572	▲4.1
	資本的収支	収入	186,352	198,512	▲12,160	▲6.1
		支出	449,636	446,848	2,690	0.6

### Ⅳ 一般会計予算の内容

#### 歳入

○自主財源…自主財源の柱は市税となっております。(図1)

歳入における構成比は、29.3%（前年度 29.4%）と県内市町の中でも低い数値になっています。

「市税」は主に、個人・法人市民税は 11 億 9,530 万円（前年比 4.3%減）、固定資産税は 14 億 62 万 3 千円（3.5%増）、たばこ税は 1 億 4,670 千円（1.2%増）、軽自動車税は 6,050 万円（1.7%増）など合計で 284 万 5 千円減(0.1%減)の 28 億 1,232 万 4 千円を計上しました。不景気が続くことにより、平成 20 年度をピークに 3 年間で 2 億 6,067 万 2 千円、8.5%減額になっています。

「繰入金」については、主に財政調整基金 3 億 6,000 万円（前年度比 3,000 万円の減）及び市有施設整備基金から新たに 1 億円を繰入れたことにより、前年度と比べ 6,854 万 8 千円、17.4%増の 4 億 6,320 万 3 千円を計上いたしました。

「諸収入」は、2,231 万 8 千円増（11.8%）の 2 億 1,198 万 7 千円です。例年の中小企業融資資金貸付金元利収入（1 億 2,000 万円）、可燃ごみ専用袋売り捌き料（1,626 万 7 千円）、栃木県市町村振興協会市町村交付金（6,000 千円）に、新規の地域海洋センター修繕助成金 3,000 万円などがあります。

その他に、保育園保育料保護者負担金 8,910 万円が主な「分担金負担金」や、自家用有償バスや市営住宅使用料、税や市民窓口の手数料などの「使用料手数料」が自主財源の主なものとなっております。

○**依存財源**…歳入における構成比は、70.7%（前年度 70.6%）です。そのうち、依存財源構成比のトップは 47.1%を占める地方交付税です。

「地方譲与税」は、300 万円の 2.3%減を見込み、1 億 3,000 万円といたしました。

「地方消費税交付金」は、1,600 万円の 6.9%減を見込み、2 億 1,600 万円を計上いたしました。また、地方特例交付金は、子ども手当に伴う地方負担分等が対象とされていることから、800 万円、22.2%の増の 4,400 万円を計上いたしました。

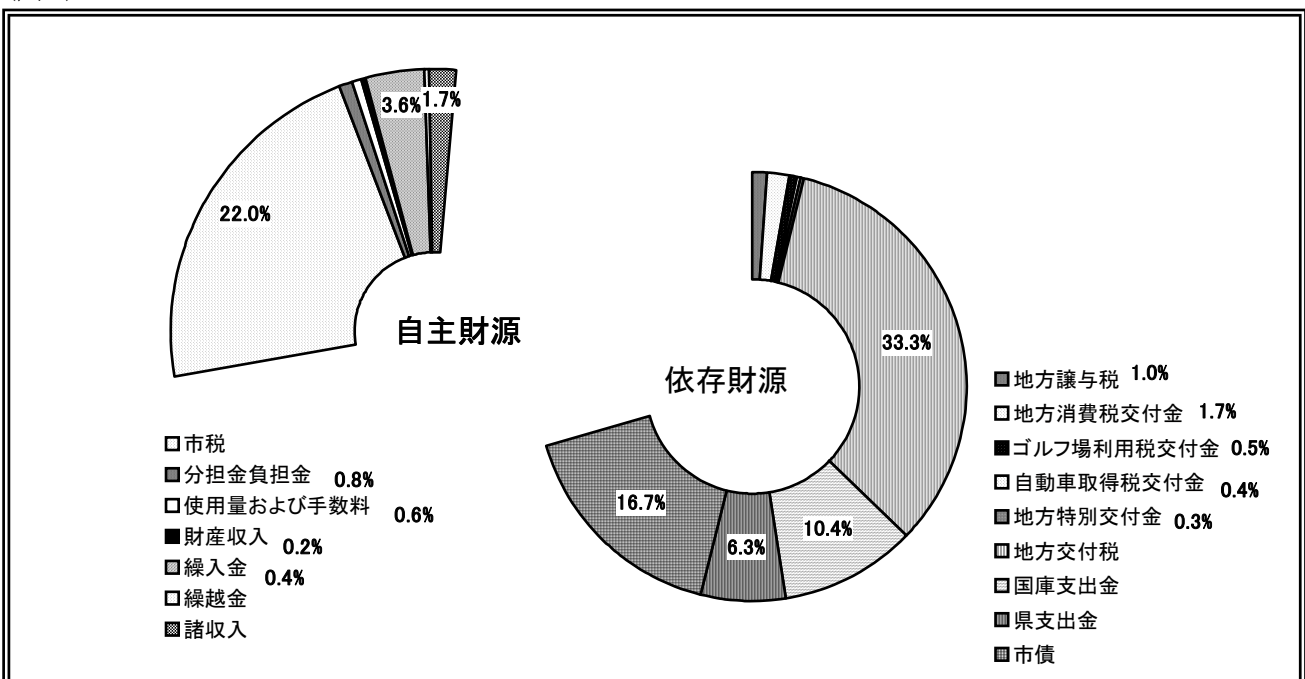
「地方交付税」は、特別枠「地域活性化・雇用等対策費（1 兆 2,000 億円）が新たに計上されたことにより、前年度と比べ 4,000 万円、1.0%増の 42 億 5,000 万円を計上いたしました。

「国庫支出金」は主に、通常的生活保護費負担金 1 億 8,914 万 2 千円や、障害者介護給付費負担金 1 億 3,584 万 8 千円の外、子ども手当負担金を 4 億 7,688 万 4 千円（1 億 2,677 万 1 千円・36.2%増）、鳥山小・中学校耐震化対策事業実施に伴う公立学校施設整備費補助金 1 億 9,289 万 7 千円（4,055 万 5 千円・26.6%増）、道整備交付金 7,250 万円（1 億 8,750 万円・72.1%減）、など 951 万 4 千円減の 13 億 2,743 万 6 千円を計上いたしました。

「県支出金」は、介護基盤緊急整備等臨時特例事業補助金 1 億 2,775 万円及び参議院選挙費委託金や国勢調査委託金が皆減になりましたが、新たに子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金 1,849 万 8 千円や緊急雇用創出事業費及びふるさと雇用再生特別費補助金 1 億 1,143 万 8 千円増の 2 億 2,800 万 7 千円による、0.8%増の 8 億 646 万 4 千円を計上いたしました。

「市債」は、前年度より 2 億 1,600 万円、11.3%増の 21 億 2,830 万円と初めて 20 億円をオーバーいたしました。その要因は継続事業の鳥山小学校及び鳥山中学校の校舎補強・改修事業に追加工事で空調整備事業を実施することや、市道整備事業等の外、新たに社会福祉施設整備事業やB & G海洋センターの改修事業及び消防庁舎建設事業負担金に伴う合併特例債 15 億 6,830 万円が大きな要因であります。臨時財政対策債は、国の地財計画によると発行可能額の総額が前年度比 20.1%減少することから、5 億円（対前年度比 1 億円減額）を計上いたしました。

(図 1)



# 歳出

## ○目的別(図 2)

歳出予算は、行財政改革の計画実行を断行するとともに、事務事業の評価を行い、総合計画の目的実現のため「選択と集中」を基本といたしました。

議会費は、3,722 万 8 千円（前年度予算比 27.8%）増の 1 億 7,126 万 1 千円であります。これは、地方議員年金制度を 6 月に廃止することの総務省方針を受け、追加負担金分の 4,199 万 1 千円を計上いたしました。

総務費は、4,862 万 2 千円（3.7%）減の 12 億 5,917 万 5 千円であります。増額の主なものは、新規のデマンド交通実証運行事業費、外国人登録システム費（2 ヶ年事業）の外、行財政システム構築費が増額いたしました。減額については、住・税情報機器と戸籍電算システム事業費、固定資産税の評価替及び課税客体事業の縮小、及び那須烏山市議会議員選挙費、参議院議員選挙、国勢調査費の終了等によるものであります。

民生費は 1 億 2,422 万円（3.7%）増の 35 億 1,930 万 7 千円で予算総額の第一位を占める 27.6%になっています。これは、新規の社会福祉施設整備費補助金や増額の子ども手当給付金事業の拡充及び国民健康保険特別会計繰出金が主で、障害者自立支援事業や 5 歳児発達相談事業など子育ての支援事業、子ども医療助成費や私立保育園施設運営委託事業、介護保険特別会計繰出金等の事業費を計上いたしました。減額は、高齢者福祉施設整備費の皆減と児童手当給付費や生活保護扶助費であります。

衛生費は、8,947 万 6 千円（5.9%）減の 14 億 1,474 万 2 千円であります。主に新規として、予防接種事業のヒブワクチン・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチンの費用 5,264 万 5 千円を計上いたしました。減額は、広域行政事務組合の塵芥・ごみ事業に伴う負担金の減額によるものであります。

労働費は、1 億 432 万 5 千円（5,633.1%）増の 1 億 617 万 7 千円であります。雇用対策事業の試行雇用助成金 120 万円の継続と、新たに公募提案型緊急雇用創出事業の 1 億 492 万 5 千円を雇用事業費として計上いたしました。

農林水産業費は、1,905 万 1 千円（5.2%）減の 3 億 4,415 万 6 千円であります。道の駅施設整備事業を新規で計上した外の主な事業は、地籍調査事業費や農業振興費及び元気な森づくり推進事業や県単土地改良事業、イノシシ捕獲促進事業強化事業等であります。

商工費は、ほぼ同額の 3 億 2,008 万 5 千円であります。新規は住宅リフォーム助成事業が目玉であり、併せて企業誘致事業や中小企業融資支援事業、新事業創出支援事業を推進し、観光事業では、まちなか観光推進費やスポレク“エコとちぎ”2011 開催時の PR 費を措置したものであります。

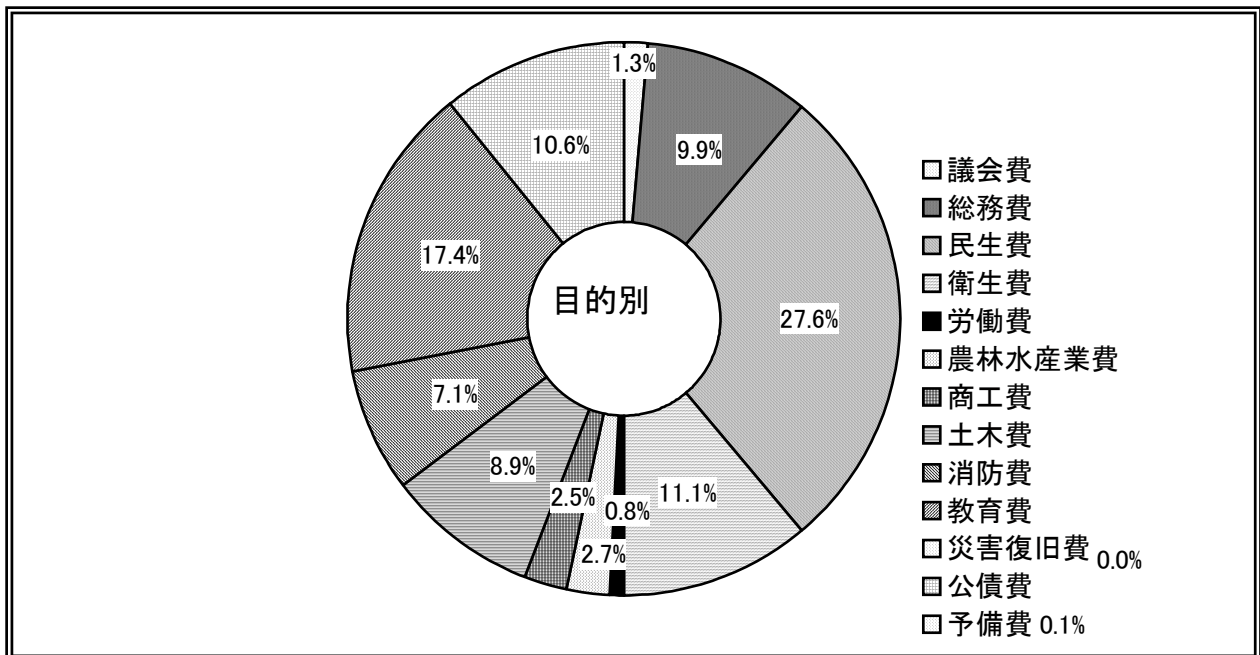
土木費は、3 億 256 万 5 千円（21.0%）減の 11 億 3,619 万 4 千円であります。これは、道整備交付金事業が一部完了したことや下水道事業特別会計繰出金や狭あい道路拡幅事業が減額したことによるものであります。

消防費は、3 億 1,354 万 4 千円（52.9%）の大幅増の 9 億 604 万 1 千円であります。増額の主な要因は、広域消防の再編に伴う消防庁舎建設費（広域行政事務組合負担金）であります。他は消防団活動費や年次計画で進めている小型ポンプ自動車の更新や防火貯水槽築造工事等であります。

教育費も、前年度と比べて 2 億 397 万 7 千円（10.1%）増の 22 億 2,119 万円であります。これは、烏山小学校は体育館改築工事が終了したものの校舎（南舎・北舎）の耐震化及び空調整備事業の追加工事を実施し、また、継続の烏山中学校校舎補強・改修事業にも追加で空調整備事業費が加わったことによるものです。残りの小中学校空調整備事業を平成 24 年度に実施するための空調整備設計業務費を新

規で計上いたしました。また、特色ある教育の一環であるサタデースクール事業、英語コミュニケーション事業及び国指定の山あげ行事や長者ヶ平官衙遺跡等の保存事業並びに地域活動事業として公民館事業やスポーツ振興対策等を計上いたしました。

(図 2)



○ 性質別(図 3)

人件費は前年度と比べ 4,043 万 1 千円 (1.7%) の減となっています。これは職員数の削減や、給与改定及び制度改正によるものです。

物件費は、1 億 6,773 万 9 千円 (12.3%) 増の 15 億 3,702 万円となっています。これは、国の緊急雇用創出事業、ふるさと雇用再生特別事業などの賃金の増額及び公募提案型緊急雇用創出事業や固定資産税の課税事業及び客体整備費の委託料並びにデマンド交通実証運行事業や行財政システム委託料の増によるものです。

扶助費は、9,491 万 3 千円 (5.9%) 増の 17 億 1,687 万 9 千円になりましたが、主に子ども手当給付金事業 (3 歳児未満は 13,000 円から 20,000 円に増) と、子ども医療費助成によるものです。

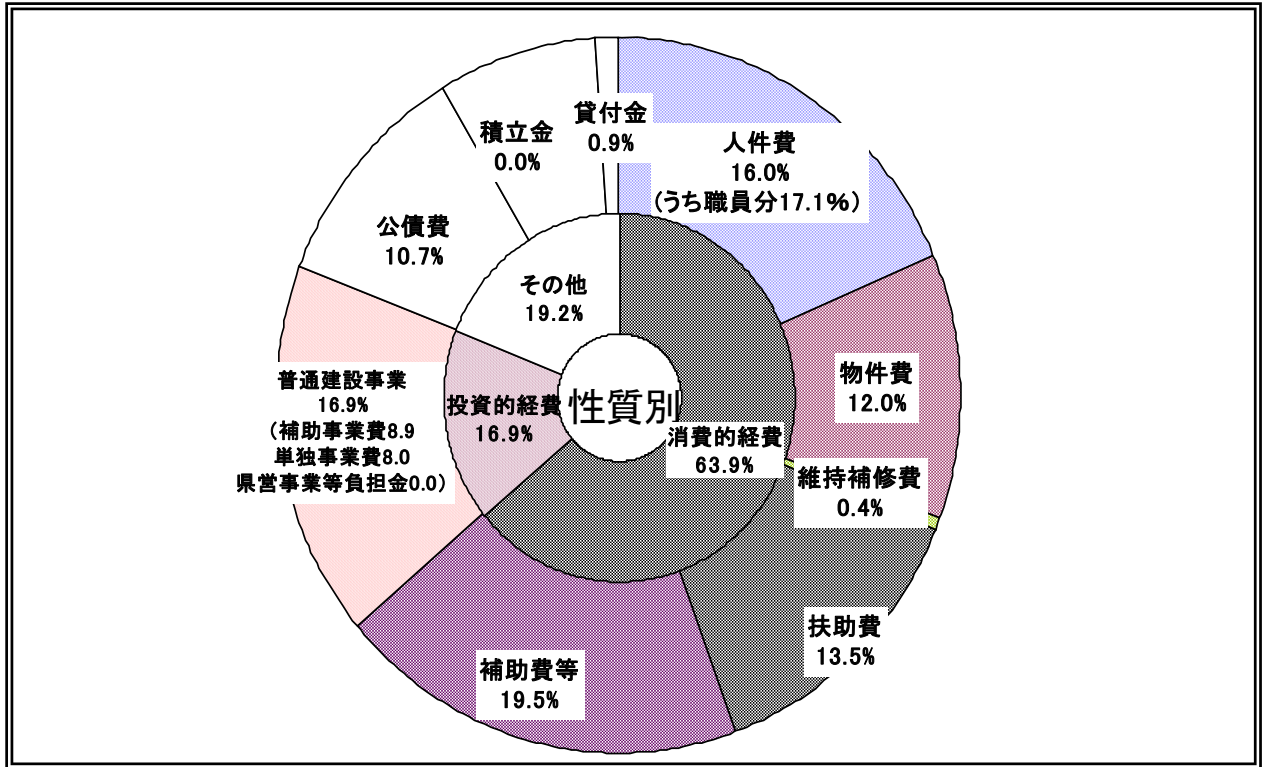
補助費等は、1 億 7,068 万 5 千円 (7.3%) 増の 24 億 9,403 万 7 千円となっています。これは主に、広域行政事務組合負担金 1 億 4,217 万 9 千円の増によるものです。また、新規のヒブワクチン・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチン予防接種によるものであります。

普通建設事業費は 7,842 万円 (3.5%) 減の 21 億 5,560 万 4 千円となっています。新規に社会福祉施設整備事業 (就労継続及び施設入所支援施設) 8,000 万円及び B & G 海洋センター改修工事 1 億 2,600 万円が加わり、また継続の烏山小・中学校校舎整備改修事業の外に新たに空調整備事業を追加したことによる増があるものの、道整備交付金事業の一部完了による減額が上回ったことによるものです。

公債費は、前年度と比べ 1,562 万 4 千円 (1.1%) 減の 13 億 5,866 万 9 千円となっています。これは公的資金の繰上げ効果による減額になったもので、3 年連続の減になりました。

繰出金は 1,181 万 8 千円 (1.2%) 増の 9 億 5,989 万 5 千円となっています。これは介護保険特別会計への 3 億 4,196 万 8 千円 (4.2%) 増の外、下水道事業特別会計繰出 1 億 9,117 万 2 千円及び国民健康保険繰出金 1 億 7,803 万 4 千円に占める割合が高くなっており、7 特別会計及び水道事業への繰出金を計上しております。なお、老人保健事業特別会計は廃止されました。

(図 3)



## V 政策別重点及び新規事業

### 【重点事業】

●は新規事業 ☆拡充事業

#### ◎居心地のよい安全なまちづくり

- ・地域 ICT 利活用モデル構築事業 24,834 千円
- ・定住促進奨励金事業 21,887 千円
- ・合併特例債（7 路線）、道整備交付金（3 路線）の活用事業及び単独（2 路線）道路事業 588,072 千円

●地域交通対策事業（デマンド交通実証運行事業） 10,220 千円

●運転免許証自主返納者支援事業 453 千円

☆JR 烏山線利用向上推進事業（市民号、各駅周辺整備） 8,050 千円

●栃木県・那須烏山市総合防災訓練開催事業費（9 月 4 日（日）大桶運動公園） 12,716 千円

●消防新庁舎建設事業（南那須広域行政事務組合負担金） 310,346 千円

#### ◎安心して暮らせる思いやりのあるまちづくり

●多機能型福祉施設運営モデル事業（旧向田小跡地利用） 2,000 千円

☆子ども手当て給付金事業 594,200 千円

・子ども医療費助成事業（中学校修了まで） 71,360 千円

●すこやか推進室の設置

●すくすく保育園運営事業（待機児童解消事業・一時預かり事業の実施） 3,800 千円

・子育て支援対策事業（5 歳児発達支援等 467、子ども館運営・活動 3,863、支援広場型 2,910、股関



節脱臼検診 144) 7,384 千円

●ヒブワクチン・小児肺炎球菌・子宮頸がんワクチン予防接種事業	52,645 千円
☆障がい者 (4,517) 及び高齢者福祉タクシー (5,591) 実施事業	10,108 千円
・妊婦健康診査事業 (14 回まで助成)	16,147 千円
●社会福祉施設整備事業 (障がい者就労継続及び施設入所支援施設整備支援)	80,000 千円
・放課後児童健全育成事業	24,359 千円

### ◎人と文化を育むふれあいまちづくり

●小学校空調設備調査・設計事業	9,807 千円
・烏山小学校校舎 (南舎・北舎) 改修事業	134,300 千円
●烏山小学校空調設備設置事業	104,580 千円
●中学校空調設備調査・設計事業	6,888 千円
・烏山中学校校舎補強・改修事業	638,949 千円
●烏山中学校空調設備設置事業	108,707 千円
●七合中学校統合事業	4,617 千円
☆小学校生活指導 (8 人)・学級支援 (16 人) 職員配置事業	72,079 千円
・奨学金給付事業 (大学生まで・給付方式)	5,400 千円
・英語コミュニケーション事業の推進(ALT 7 人配置)	25,122 千円
・サタデースクールの実施 (小 6・中 3 対象、10 月から 2 月まで)	5,087 千円
☆長者ヶ平官衙遺跡保存事業 (公有化事業)	28,078 千円
●南那須 B & G 海洋センター施設改修事業	133,809 千円

### ◎活力あるにぎわいのまちづくり

●住宅リフォーム助成事業	10,020 千円
●公募提案型緊急雇用創出事業	104,925 千円
・試行雇用助成金事業	1,200 千円
●道の駅施設整備調査事業	5,000 千円
●とちぎ食の回廊づくり事業 (八溝そば街道そば祭り事業)	2,500 千円
●農林水産特産物開発事業 (地域団体支援及びフードバレー関連事業)	1,600 千円
・企業立地奨励金事業	15,737 千円
・商工振興資金貸付事業	126,006 千円
☆観光振興対策事業 (まちなか観光散策コース策定事業 1,117、スポレク “エコとちぎ 2011” 2,000、 烏山線開通 88 周年記念事業等)	15,540 千円

### ◎自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

●LED防犯灯整備事業	2,200 千円
・エネルギー対策事業(エコキュート設置費補助金)	5,310 千円

## 【主要事業】

### ◎居心地のよい安全なまちづくり

・ふれあいの道づくり事業	10,400 千円
・浄化槽設置整備事業	51,872 千円
・橋梁長寿化修繕計画策定事業	4,500 千円
・辺地道路整備事業	60,100 千円
・住宅・建築物安全ストック形成事業	1,100 千円
☆消防施設整備事業	34,336 千円
・消防水利施設整備事業	17,400 千円

### ◎安心して暮らせる思いやりのまちづくり

・新型インフルエンザ予防事業	20 千円
☆予防接種事業（高齢者肺炎球菌ワクチン接種 3,500）	69,055 千円
・健康づくり事業	3,331 千円
・高齢者福祉の充実(敬老会 9,434、福祉年金等支給 8,710 等)	20,131 千円
・高齢者生きがい対策の充実（老人クラブ、福祉バス運行等）	11,448 千円
・地域自殺対策緊急強化事業	783 千円
・障がい者自立支援事業	361,069 千円
・児童虐待防止事業	268 千円
・後期高齢者医療制度事業(人間ドック検診助成を含む)	366,802 千円
・特定不妊治療費助成事業	1,600 千円
・各種医療助成事業(自己負担 1 レセプト 500 円補助) （重度心身障害、ひとり親家庭医療、妊産婦医療）	56,517 千円
・女性特有のがん検診推進事業	3,981 千円
・消費者生活センター事業	3,124 千円

### ◎人と文化を育むふれあいのまちづくり

・中学校海外派遣事業(国際交流事業の推進)	4,908 千円
・郷土教育の推進	870 千円
・全市花街道づくり事業	800 千円
・公民館地域活動・花づくり事業	2,445 千円
☆文化財調査事業	18,971 千円
・地域伝承行事活動事業	6,600 千円
・スポーツ振興団体助成事業	8,625 千円

### ◎活力あるにぎわいのまちづくり

・都市農村交流事業（人・食・緑を生かす農村地域づくり事業）	897 千円
・都市農村交流施設運営事業（ふじた体験むら）	6,289 千円
・県単独土地改良事業（大里・小倉・西野地区）	15,125 千円

・まちづくり産学官連携事業（近代化遺産活用事業等）	1,484 千円
・新事業創出支援事業（共同開発・販路開拓等）	4,592 千円
☆まちおこし推進事業（山あげ祭・いかんべ祭・タウンイルミネーション）	7,117 千円

◎自然や環境を大切に次代へつなぐまちづくり

・自然環境の保全・活用事業（松くい虫防除）	780 千円
☆元気な森づくり事業(森林環境税交付事業)	17,031 千円
・イノシシ捕獲促進強化事業	1,820 千円
・森林整備加速化・林業再生事業	128 千円

◎市民とともにあゆむ行政経営

・ふるさと応援基金寄付事業	302 千円
・まちづくり団体支援事業	2,200 千円
・ホームページ管理運営事業	3,146 千円
・旅券発給事業	90 千円

◎効率的で質の高い行政運営

・人事管理・育成事業	1,498 千円
------------	----------

◎無駄のない自律的な行政運営

・行政情報推進・構築事業	75,872 千円
--------------	-----------

## ◇ 市税の状況

○住基人口 30,064人 ○世帯数 10,499戸 (平成23年1月1日現在)

科目	予算状況			市民の負担金額	
	予算額	構成比 (%)	前年比 (%)	1人あたり	1世帯あたり
市民税	11億 9,530万円	42.5	95.7	3万 9,759円	11万 3,849円
固定資産税	14億 62万 3千円	49.8	103.5	4万 6,588円	13万 3,405円
軽自動車税	6,050万円	2.2	101.7	2,012円	5,762円
市タバコ税	1億 4,670万円	5.2	101.2	4,880円	1万 3,973円
入湯税	920万 1千円	0.3	121.0	306円	876円
計	28億 1,232万 4千円	100.0	99.9	9万 3,545円	26万 7,865円

## ◇ 市民1人・1世帯あたりに使われる予算額

○住基人口 30,064人 ○世帯数 10,499戸 (平成23年1月1日現在)

<p><b>予算総額</b></p> <p>42万4,694円 (1人)</p> <p>121万 6,116円 (1世帯)</p> 			
<p><b>議会費</b></p> <p>5,697円</p> <p>16,312円</p> <p>議会運営のために</p> 	<p><b>総務費</b></p> <p>4万1,883円</p> <p>11万9,933円</p> <p>市のさまざまな総合運営のために</p> 	<p><b>民生費</b></p> <p>11万7,061円</p> <p>33万 5,204円</p> <p>市民の福祉のために</p> 	
<p><b>衛生費</b></p> <p>4万7,058円</p> <p>13万 4,750円</p> <p>健康診断・予防接種、ごみの回収処理のために</p> 	<p><b>農林水産業費</b></p> <p>1万1,447円</p> <p>3万 2,780円</p> <p>水田経営所得安定対策、地産地消促進のために</p> 	<p><b>商工費</b></p> <p>1万 647円</p> <p>3万 487円</p> <p>商工業の育成・観光事業の推進のために</p> 	<p><b>土木費</b></p> <p>3万7,793円</p> <p>10万 8,219円</p> <p>市道整備・公園整備などのために</p> 
<p><b>消防費</b></p> <p>3万 137円</p> <p>8万 6,298円</p> <p>消防活動のために</p> 	<p><b>教育費</b></p> <p>7万3,882円</p> <p>21万 1,562円</p> <p>義務教育・生涯学習の推進・スポーツ振興のために</p> 	<p><b>公債費</b></p> <p>4万5,193円</p> <p>12万 9,410円</p> <p>市の借入金の返済のために</p> 	<p><b>その他</b></p> <p>3,896円</p> <p>1万 1,161円</p> <p>労働費 (臨時雇用)・予備費などのために</p> 

## ◇市の予算を家計簿に例えると

収入の部	市の一般会計予算	
	区分	当初予算額
	市税	28 億 1,232 万円
	その他の収入	4 億 6,881 万円
	地方交付税	42 億 5,000 万円
	その他の交付金	5 億 1,147 万円
	国県支出金	21 億 3,390 万円
	繰入金	4 億 6,320 万円
	市債	21 億 2,830 万円
	収入合計	127 億 6,800 万円

家計簿	
区分	金額
給与収入	240 万円
妻のパート収入	40 万円
親などからの仕送り・援助金	588 万円
貯金の取り崩し	40 万円
借金	182 万円
収入合計	1,090 万円

支出の部	市の一般会計予算	
	区分	当初予算額
	人件費	23 億 6,033 万円
	扶助費	17 億 1,688 万円
	公債費	13 億 5,867 万円
	普通建設事業費	21 億 5,661 万円
	物件費、補助費等、その他の経費	51 億 7,551 万円
	支出合計	127 億 6,800 万円

家計簿	
区分	金額
生活必要経費(食費等)	202 万円
兄弟などへの援助、医療費等	146 万円
ローン返済	116 万円
家屋等の増改築	184 万円
生活資金(電気、ガス、洋服・車購入、子どもの教育費、維持・修繕等)	442 万円
支出合計	1,090 万円

財産・負債の部	市の一般会計予算	
	区分	金額
	市債残高	127 億 3,962 万円
	基金残高	29 億 51 万円
	財政調整基金	16 億 9,985 万円
減債基金	1 億 1,706 万円	

家計簿	
区分	金額
ローン残高	1,088 万円
預貯金	402 万円

## VI 特別会計及び水道事業会計の概要

### (1) 国民健康保険特別会計（事業勘定）

※被保険者数 9,512 人、5063 世帯（年平均見込み）

○予算額	3,477,100 千円 (+2.9%)
・国民健康保険税	866,070 千円
・繰入金	371,034 千円
	(うち一般会計繰入金 178,034 千円)
・保険給付費	2,305,229 千円

### (2) 国民健康保険特別会計（診療施設勘定）

○予算額	86,000 千円 (▲1.0%)
・診療収入	84,332 千円
・繰入金	1,106 千円
	(うち一般会計繰入金 1,106 千円)
・総務費	40,451 千円
・医業費	43,400 千円

### (3) 熊田診療所特別会計

○予算額	52,000 千円 (+0.8%)
・診療収入	38,420 千円
・繰入金	13,129 千円
	(うち一般会計繰入金 13,128 千円)
・総務費	32,283 千円
・医業費	18,694 千円

### (4) 後期高齢者医療特別会計

※被保険者数 4,848 人（年平均見込み）

○予算額	277,100 千円 (▲9.4%)
・保険料	163,232 千円
・繰入金	91,167 千円
	(うち一般会計繰入金 91,167 千円)
・広域連合納付金	242,503 千円
・健診事業	27,903 千円

### (5) 介護保険特別会計

※認定者数 1,312 人（平成22年10月末）

○予算額	2,284,000 千円 (+5.6%)
・保険料	319,946 千円
・繰入金	433,418 千円
	(うち一般会計繰入金 341,968 千円)
・保険給付費	2,184,662 千円
・地域支援事業費	27,094 千円

(6) 農業集落排水事業特別会計

○予算額	55,700 千円 (▲16.7%)
・使用料	10,945 千円
・繰入金	37,749 千円
	(うち一般会計繰入金 37,749 千円)
・総務費	26,192 千円
・公債費	28,598 千円

(7) 下水道事業特別会計

○予算額	374,900 千円 (▲2.1%)
・下水道事業負担金	18,213 千円
・使用料	35,864 千円
・繰入金	191,172 千円
	(うち一般会計繰入金 191,172 千円)
・総務費	79,033 千円
・下水道事業費	122,687 千円
・公債費	172,986 千円

(8) 簡易水道事業特別会計

・予算額	98,400 千円 (▲2.1%)
・水道収入	70,687 千円
・繰入金	25,533 千円
	(うち一般会計繰入金 25,533 千円)
・総務費 (維持費)	40,669 千円
・水道整備費	40 千円
・公債費	56,981 千円

(9) 水道事業会計

※給水戸数 8,686 戸、年間総給水量 2,392,920 m<sup>3</sup>

・水道収入	540,031 千円
・繰入金	79,829 千円
	(うち一般会計繰入金 79,829 千円)
・建設改良事業費	139,695 千円
・企業債償還金	308,842 千円

## ◎ 各会計の地方債残高

(単位 千円)

区 分	平成21年度末 現在高	平成22年度末 現在高見込額	平成 23 年度中増減見込額		平成 23 年度末 現在高見込額
			起債見込額	元金償還見込 額	
一般会計	12,117,091	12,739,615	2,128,300	1,150,623	13,717,292
国民健康保険特 別会計	7,275	6,509	0	803	5,706
農業集落排水事 業特別会計	372,576	357,806	5,800	20,544	343,062
下水道事業 特別会計	2,762,080	2,723,354	82,650	114,912	2,691,092
簡易水道事業特 別会計	528,534	479,819	0	47,470	432,349
特別会計合計	3,670,465	3,567,488	88,450	183,729	3,472,209
水道事業会計	4,593,970	4,392,780	108,000	308,842	4,191,938
合 計	20,381,526	20,699,883	2,324,750	1,643,194	21,381,439



◎ 各基金残高

会計別	区分	種別	平成 22 年度末 現在高	平成 23 年度中 増減高	平成 23 年度末 現在高	
一般会計	財政調整基金	現金	1,699,858 千円	▲358,693 千円	1,341,165 千円	
	減債基金	現金	117,068 千円	118 千円	117,186 千円	
	地域振興基金	国債	1,340,000 千円	0 千円	1,340,000 千円	
	市有施設整備基金	現金	803,094 千円	▲99,196 千円	703,898 千円	
	富士見台工業団地整備 管理基金	現金	41,313 千円	▲1,274 千円	40,039 千円	
	図書館振興基金	現金	3,351 千円	10 千円	3,361 千円	
	地域福祉基金	現金	300,701 千円	1 千円	300,702 千円	
	自家用有償バス 事業基金	現金	5,995 千円	6 千円	6,001 千円	
	奨学基金	現金	404,137 千円	1,878 千円	406,015 千円	
	ふるさと応援基金	現金	1,909 千円	▲1,883 千円	26 千円	
	<b>一般会計区分小計</b>			<b>4,717,426 千円</b>	<b>▲459,033 千円</b>	<b>4,258,393 千円</b>
	土地開発基金	現金	208,026 千円	209 千円	208,235 千円	
土地		166,294 千円 34,321 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	166,294 千円 34,321 m <sup>2</sup>		
国民健康保険 特別会計	国民健康保険 財政調整基金	現金	233,788 千円	▲192,297 千円	41,491 千円	
	国民健康保険 高額療養資金貸付基金	現金	10,051 千円	30 千円	10,081 千円	
熊田診療所 特別会計	熊田診療所 運営基金	現金	3,021 千円	0 千円	3,021 千円	
介護保険 特別会計	介護保険財政調整基金	現金	134,358 千円	▲90,737 千円	43,621 千円	
	介護従事者処遇改善臨時 特例基金	現金	389 千円	▲449 千円	▲60 千円	
<b>特別会計小計</b>			<b>381,607 千円</b>	<b>▲283,453 千円</b>	<b>98,154 千円</b>	
<b>合計(土地開発基金の除く)</b>			<b>5,099,033 千円</b>	<b>▲742,483 千円</b>	<b>4,356,547 千円</b>	